

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類 信託期間	追加型投信／内外／株式 無期限（2013年5月13日設定）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・主として世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。</li><li>・参考指標は、FTSEグローバル スモール・キャップ インデックス（円換算ベース）とします。（2023年5月12日現在）</li><li>・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。</li><li>・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経费率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。</li><li>・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。</li><li>・当ファンドの運用にあたっては、「ウエルスアドバイザー株式会社」の投資助言を受けます。</li></ul>
主要運用対象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資します。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
配分方針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、配分方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

# 運用報告書（全体版）

第10期

（決算日 2023年5月12日）

## EXE-i グローバル中小型株式 ファンド

追加型投信／内外／株式

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「EXE-i グローバル中小型株式ファンド」は、2023年5月12日に第10期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

URL：<http://www.sbiam.co.jp/>



## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指標		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
6期(2019年5月13日)	15,895	0	△ 4.6	16,724	△ 3.0	99.5	6,082
7期(2020年5月12日)	13,601	0	△ 14.4	14,614	△ 12.6	99.6	5,800
8期(2021年5月12日)	21,972	0	61.5	23,873	63.4	99.8	10,186
9期(2022年5月12日)	21,634	0	△ 1.5	23,576	△ 1.2	99.4	10,917
10期(2023年5月12日)	23,371	0	8.0	25,529	8.3	99.7	12,861

(注1) 参考指標はFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。

(注2) 参考指標は設定日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標		投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2022年5月12日	21,634	—	23,576	—	99.4
5月末	23,245	7.4	25,161	6.7	99.3
6月末	22,379	3.4	24,355	3.3	98.9
7月末	23,498	8.6	25,496	8.1	99.5
8月末	23,748	9.8	25,911	9.9	99.5
9月末	22,257	2.9	24,225	2.8	99.1
10月末	24,509	13.3	26,601	12.8	99.5
11月末	23,913	10.5	26,003	10.3	99.6
12月末	22,428	3.7	24,342	3.2	99.2
2023年1月末	23,593	9.1	25,690	9.0	99.3
2月末	24,460	13.1	26,670	13.1	99.6
3月末	23,185	7.2	25,295	7.3	99.4
4月末	23,413	8.2	25,453	8.0	99.2
(期末)					
2023年5月12日	23,371	8.0	25,529	8.3	99.7

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標はFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。

参考指標：「FTSEグローバル スモール・キャップ インデックス」

FTSEグローバル スモール・キャップ インデックスとは、FTSE社が開発した指数で世界の中小型株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。また、FTSE社は、同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。当ファンドでは、同指数を委託会社が円換算し参考指標としています。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2022年5月13日～2023年5月12日まで）

### ○基準価額等の推移



期 首：21,634円

期 末：23,371円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 8.0%

(注1) 参考指標はFTSE グローバル スモール・キャップ インデックス（米ドルベース）を委託会社で円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2022年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施されていた中国の行動制限緩和への期待
- ・対円で米ドルが上昇したこと

#### 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な政策金利上げ
- ・英減税計画により財政悪化が懸念されリスク回避の動きが強まったこと
- ・米国金融機関の破綻に伴う信用不安によりリスク回避の動きが強まったこと

## ○投資環境

---

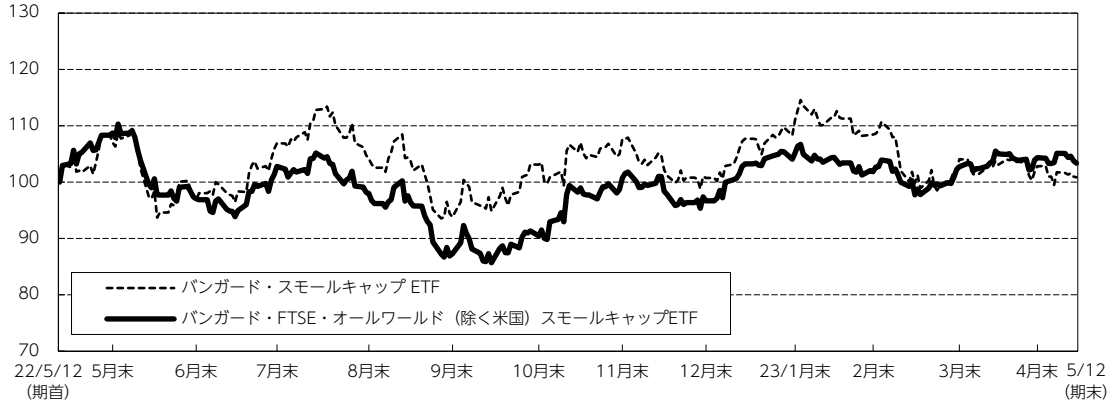
### < 中小型株式市場 >

期初、米国株式市場を代表するS&P500種指数は4,000台で始まりました。FRBのタカ派化に伴う米長期金利上昇への警戒感と中国景気への懸念や一部の米大型ハイテク企業の決算が嫌気されたことなどから、6月中旬にかけて3,600台まで下落しました。中国の景気支援策への期待などから7月以降は上昇しましたが、8月中旬に4,300台に到達した後、FRBのパウエル議長がインフレ抑制に向けて利上げ継続姿勢を強調し、米金利が上昇したことなどを受けて、10月中旬にかけて3,500台まで下落しました。その後、英減税計画の一部撤回やCPIの伸び鈍化が好感され、11月に4,000近辺まで反発しました。12月には一時的に下落しましたが、2023年1月には雇用統計で賃金の伸び鈍化が確認されるとともに、景気の軟着陸期待も強まったことから、上昇しました。その後2月には雇用の大幅増加、CPIの上ぶれや堅調な小売売上高に伴う高インフレ懸念、3月には米国金融機関の破綻に伴う信用不安などが嫌気されS&P500種指数は調整局面に入りましたが、当局の対応などからやや値を戻し、3月下旬以降は上昇しました。通期ではS&P500種指数は上昇し、4,100台で期を終えました。

### < 外国為替市場 >

当期、米ドル円相場は円安に動きましたが、期末にかけて円高に戻る動きも見られました。当期は128円台で始まり、その後も0.75%の大幅利上げを4回連続で実施するなど金融引き締めを積極化するFRBの動きを受けて円安・ドル高傾向が続きました。このような状況下、9月22日に日本銀行は約24年ぶりに為替介入を実施しました。その後も、米消費者物価指数(CPI)の高止まりによる引締め懸念から米ドルは上昇し10月21日に150円台を付け、為替介入が実施されると、140円台後半での推移となりました。11月以降、米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げ幅が拡大されるとの見方が後退し、円高・ドル安が進み、1月は米ドル円相場が127円台まで下落しました。3月前半は堅調な米雇用統計や、米サービス業景気指数の予想を上回る改善などから、円安・ドル高が進行しました。3月後半から4月前半は、米地銀破綻による金融システム不安から投資家のリスク回避姿勢が強まり、米長期金利が低下した事や、米ISM製造業景況感指数が2020年5月以来の水準に低下した事による米景気先行き懸念を受けて円高・ドル安が進行しました。4月後半、米長期金利の上昇、日本銀行の長短金利操作の維持などから、円安・ドル高が進みました。通期では、円安・ドル高が進み、134円台で終わりました。

### <組入投資信託証券の推移>

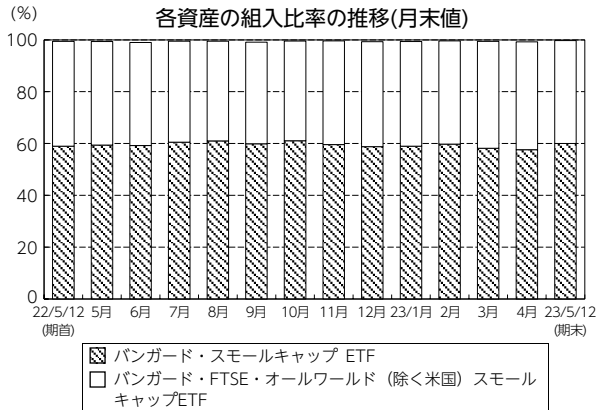


出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注1) 期首を100として指数化しています。

(注2) 期末時点の各資産の詳細につきましては、最終ページのご参考組入投資信託証券の概要をご覧ください。

### ○当ファンドのポートフォリオ



ウェルズアドバイザー株式会社の投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF (上場投資信託) への投資を通じて、世界 (日本を含む) の中小型株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

(注) 各資産の詳細につきましては、最終ページのご参考組入投資信託証券の概要をご覧ください。

【組入投資信託証券の資産構成比率】

	組入上位10カ国・地域	構成比率
1	米国	57.0%
2	カナダ	6.4%
3	日本	5.7%
4	英国	3.9%
5	台湾	3.3%
6	インド	2.1%
7	オーストラリア	2.0%
8	中国	1.9%
9	韓国	1.8%
10	スウェーデン	1.7%

	組入上位10業種	構成比率
1	資本財・サービス	20.3%
2	金融	12.8%
3	情報技術	12.5%
4	一般消費財・サービス	12.3%
5	ヘルスケア	10.1%
6	不動産	8.4%
7	素材	8.3%
8	エネルギー	4.7%
9	生活必需品	4.3%
10	公益事業	3.4%

	組入上位10銘柄	国	構成比率
1	WSPグローバル	カナダ	0.2%
2	フェア・アイザック	米国	0.2%
3	タルガ・リソーシズ	米国	0.2%
4	アトモス・エナジー	米国	0.2%
5	ファースト・クワンタム・ミネラルズ	カナダ	0.2%
6	リパティ・メディアーリパティ・フォーミュラ・ワン	米国	0.2%
7	アイデックス	米国	0.2%
8	リライアンス・スチール・アンド・アルミナム	米国	0.2%
9	ビルダーズ・ファースト・ソース	米国	0.2%
10	ブンゲ	米国	0.2%

出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメント作成

(注1) 2023年4月28日時点の比率です。

(注2) 当ファンドが投資する投資信託証券（ETF）の組入比率に基づき、加重平均して算出した値です。

(注3) 投資信託証券を通じて投資する株式の評価額合計に対する比率です。

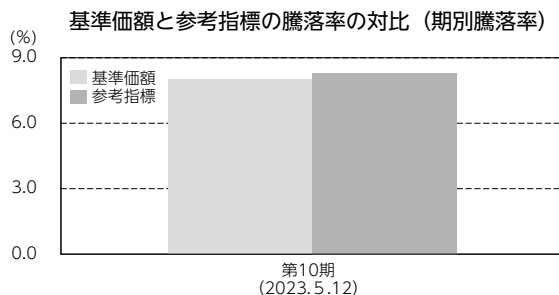
【組入投資信託証券の騰落率】

投資信託証券の名称	投資対象	通貨	当期の騰落率
バンガード・スモールキャップ ETF	米国の中小型株式	米ドル	0.9%
バンガード・FTSE・オールワールド (除く米国) スモールキャップETF	米国を除く世界の中小型株式	米ドル	3.3%

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。



(注) 参考指標はFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス (円換算ベース) を使用しています。詳細はP1をご参照ください。

## ○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期
	2022年5月13日～ 2023年5月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,371

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

主としてETF(上場投資信託)への投資を通じて、世界(日本を含む)の中小型株式へ実質的に投資し、世界(日本を含む)の中小型株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、ウェルズアドバイザー株式会社の投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

# ○ 1万口当たりの費用明細

(2022年5月13日～2023年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	円 ( 26) ( 26)  ( 8)	% (0.110) (0.110)  (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料  (投資信託証券)	2  ( 2)	0.007  (0.007)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権 口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支 払う手数料
(c) 有価証券取引税  (投資信託証券)	0  ( 0)	0.000  (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権 口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関 する税金
(d) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	4 ( 3)  ( 1) ( 0)	0.017 (0.012)  (0.005) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	65	0.277	
期中の平均基準価額は、23,385円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

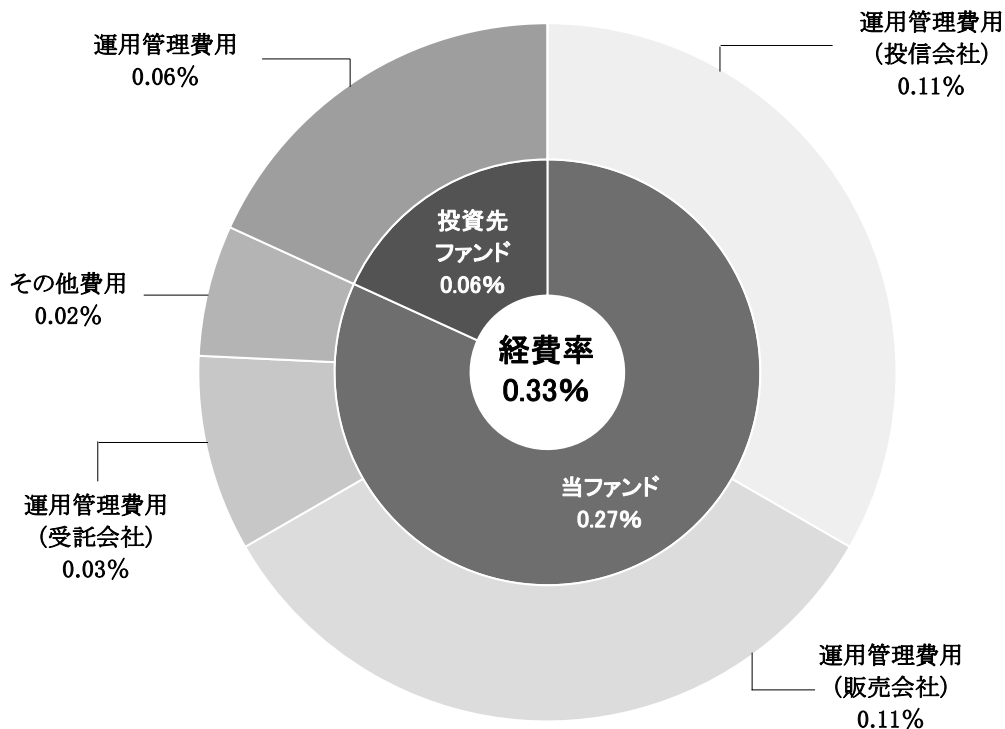
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は0.33%**です。



経費率 (①+②)	0.33%
①当ファンドの費用の比率	0.27%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年5月13日～2023年5月12日)

### 投資信託証券

銘柄			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	VANGUARD SMALL-CAP ETF	口 41,653	千ドル 7,709	口 5,667	千ドル 1,054
		VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP ETF	44,805	4,645	18,551	2,058

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未满是切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年5月13日～2023年5月12日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年5月12日現在)

### 外国投資信託証券

銘柄名	当期末			比率
	口数	評価額		
		外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
VANGUARD SMALL-CAP ETF	311,521	57,294	7,713,618	60.0
VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP ETF	343,954	37,965	5,111,314	39.7
合計	655,475	95,260	12,824,932	99.7

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未满是切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年5月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 12,824,932	% 99.4
コール・ローン等、その他	74,834	0.6
投資信託財産総額	12,899,766	100.0

(注1) 評価額の単位未满是切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(12,825,076千円)の投資信託財産総額(12,899,766千円)に対する比率は99.4%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、5月12日における円換算レートは、1ドル=134.63円です。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	12,899,766,266円
コール・ローン等	74,833,729
投資信託受益証券(評価額)	12,824,932,537
(B) 負 債	38,753,484
未 払 解 約 金	22,750,242
未 払 信 託 報 酬	15,673,038
未 払 利 息	204
そ の 他 未 払 費 用	330,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	12,861,012,782
元 本	5,502,873,919
次 期 繰 越 損 益 金	7,358,138,863
(D) 受 益 権 総 口 数	5,502,873,919口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	23,371円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>  
(貸借対照表関係)

期首元本額	5,046,442,227円
期中追加設定元本額	1,035,227,980円
期中一部解約元本額	578,796,288円

## ○損益の状況 (2022年5月13日~2023年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	192,490,593円
受 取 配 当 金	201,785,725
受 取 利 息	169,157
支 払 利 息	△ 9,464,289
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	628,813,902
売 買 益	674,133,342
売 買 損	△ 45,319,440
(C) 信 託 報 酬 等	△ 33,253,502
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	788,050,993
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,739,656,841
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,830,431,029
( 配 当 等 相 当 額 )	( 4,278,764,935)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 551,666,094)
(G) 計 (D + E + F)	7,358,138,863
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	7,358,138,863
追 加 信 託 差 損 益 金	4,830,431,029
( 配 当 等 相 当 額 )	( 4,278,764,935)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 551,666,094)
分 配 準 備 積 立 金	2,527,707,834

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(184,695,972円)、費用控除後の有価証券等損益額(174,602,054円)、信託約款に規定する収益調整金(4,830,431,029円)および分配準備積立金(2,168,409,808円)より分配対象収益は7,358,138,863円(10,000口当たり13,371円)ですが、当期に分配した金額はありません。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・スモールキャップETF	米国の中小型株式	CRSP USスモールキャップ・インデックス	0.05%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
IDEX Corp.	0.4%
Fair Isaac Corp.	0.4%
Targa Resources Corp.	0.4%
Liberty Media Corp-Liberty Formula One	0.4%
Atmos Energy Corp.	0.4%
Reliance Steel & Aluminum Co.	0.3%
Axon Enterprise Inc.	0.3%
Bunge Ltd.	0.3%
PTC Inc.	0.3%
Lattice Semiconductor Corp.	0.3%

組入上位業種	比率
資本財・サービス	21.5%
一般消費財	15.4%
金融	13.2%
テクノロジー	12.2%
ヘルスケア	11.7%
不動産	7.7%
エネルギー	5.5%
素材	4.3%
公益事業	3.6%
生活必需品	3.5%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成  
 (注) 2023年3月31日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・オールワールド (除く米国)スモールキャップETF	米国を除く世界の 小型株	FTSEグローバル・スモールキャップ (除く米国)インデックス	0.07%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
WSP Global Inc.	0.6%
First Quantum Minerals Ltd.	0.5%
Cameco Corp.	0.4%
Emera Inc.	0.4%
Open Text Corp.	0.4%
Ritchie Bros Auctioneers Inc.	0.4%
TFI International Inc.	0.4%
CCL Industries Inc.	0.3%
ARC Resources Ltd.	0.3%
Ecopro Co. Ltd.	0.3%

組入上位業種	比率
資本財・サービス	20.4%
一般消費財	14.2%
テクノロジー	12.3%
素材	11.5%
金融	10.0%
不動産	9.4%
ヘルスケア	6.6%
エネルギー	5.0%
生活必需品	4.6%
公益事業	4.1%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成  
 (注) 2023年3月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第10期期末時点のものであり、将来変更される場合があります。